

平成 29 年 12 月 22 日

各 位

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 弘明
(コード番号 2743 JASDAQ)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役副社長兼コーポレート本部長 本瀬 建
電 話 03-6731-3414

新たな事業（仮想通貨関連事業（マイニング事業））の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、新たな事業として仮想通貨関連（ビットコイン等）のうち、マイニング（ビットコイン等）事業を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新規事業開始の趣旨

当社グループは、太陽光発電施設の販売・取次を行う「再生可能エネルギー事業」、金融機関向けシステム開発・システムインテグレーションを行う「フィンテック・IoT 事業」、カジノゲーミングマシンの製造・開発を行う「IR 関連事業」、をコア事業としており、グループ全体の企業価値向上に向け、各事業の基盤構築を進めております。

当社グループの事業セグメントであるフィンテックは、「金融 (Financial)」と「技術 (Technology)」の融合により金融サービスに革命をもたらしております。中でも、仮想通貨は発展・市場成長が著しく、日本国内においても、物品購入・サービス提供の決済・売買・交換に利用できる財産的価値であり、法定通貨ではない決済手段の一つとして定義（平成 28 年 5 月に資金決済法等関連法案の改正）されております。法定通貨は発行体が信用力を担保する中央集権型システムである一方、国際送金、決済に時間やコストを要することに対して、ビットコインをはじめとした仮想通貨は、その通貨としての信頼性の担保が重要であり、ネットワーク参加者が相互監視する分散型システムでその信用性が担保されながら、送金、決済等に要する時間やコストを低減させていることから、今後、仮想通貨は国や地域の障壁を超えた全世界共通の新たな通貨となるものと考えております。そしてそれら分散型システムの運用にはマイニング（※）が必要となります。

当社グループは仮想通貨の取引規模は拡大傾向にあることから、当該事業への参入により一定の収益が見込めるものと想定しており、また、当社グループが展開するフィンテック・IoT 事業において金融機関向けシステム開発等で培ってきた技術やノウハウを活かしたシナジーのある事業展開を視野に入れた事業成長を構想できることから、仮想通貨のマイニング事業開始を決定いたしました。新たに仮想通貨マイニング事業に取り組むことで、当該事業におけるシナジー及び事業領域拡大による収益基盤の拡充により既存事業の更なる発展により、企業価値向上に資するものと考えております。

※マイニングとは、ネットワーク上に存在する取引データの固まり（ブロック）の整合性を確保するための承認作業のことであり、最も早く承認できたものに対し、仮想通貨が報酬として支払われます。

2. 事業の概要

(1) 新たな事業の内容

仮想通貨関連事業（マイニング事業）

中華人民共和国内モンゴル自治区（以下「内モンゴル自治区」といいます。）において、ASIC（集積回路）を活用したマイニング事業を行います。なお、内モンゴル自治区は電気料金が安価であり、高原地帯の為、夏場でも涼しい気候であることから、マイニングに適しており、投資リターンが高いと考えられることから同地区を選定いたしました。

※マイニングは、マイニングマシン稼働の為の電力消費量が大きく、また、マイニングマシンの稼働時に冷却が必要となることから、安価な電力供給エリアで寒冷地が適していると言われております。

(2) 事業開始の時期

平成 30 年上半期（予定）

(3) 当該事業を担当する部門

当社並びに当社子会社である株式会社アフロを予定しております。

(4) 事業開始の為に特別に支出する金額及び内容

マイニング事業に対し支出を予定しており、当初設備投資額として約 100 百万円をマイニングマシンの購入の為に支出することを計画しております。今後の投資金額については、市場動向等勘案し段階的な引き上げを決定する予定です。なお、約 100 百万円は子会社の売却等で得た自己資金となります。

3. 今後の見通し

本件による当期の連結業績に与える影響は軽微であります。将来的な企業価値向上に寄与する事業であると考えております。業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかにお知らせいたします。

以上